

全国お手玉遊び大会に かける思い

「全国お手玉遊び大会」に向けて、着々と準備を進めておられる人たちに、大会にかける熱い思いを聞きました。

美濃加茂お手玉の会

遊び心を持って
気軽に参加していただければ

昨年は、初めて「市民お手玉遊び大会」を開催しましたが、大会当日は400人を超える参加者があり、笑顔あふれる和やかな雰囲気の中で、素晴らしい大会になりました。今年も、6月の市民大会に引き続き、9月には全国大会を開催するということで、会員一人となつて、各種イベントなどでお手玉の普及活動やお手玉遊び大会のPRに取り組んでいます。

大会となると、お手玉で遊んだ経験



安江貞江さん(本郷町)
平成16年に発足した「美濃加茂お手玉の会」会長

がある人でも、しり込みをされる人が多いかと思いますが、全国大会となればなおさらだと思えます。しかし、全国大会といつても予選会があるわけではなく、だれでも参加できますので、遊び心を持って、気軽に参加していただければと思います。

伝承遊びであるお手玉に競技性を持たせることで、これからお手玉を始めようとする人たちにとつても、一つの目標ができて、取り組みやすくなると思います。



▲各種イベントで、お手玉遊びの普及活動を行っています

第14回全国お手玉遊び 岐阜・美濃加茂大会実行委員会

美濃加茂からいろいろな情報を
発信していきたい



高井節夫さん(山之上町)
第14回全国お手玉遊び岐阜・美濃加茂大会実行委員会委員長

全国大会を契機に、小さい子どもたちから高齢の人たちまで、幅広い年代層でお手玉に取り組んでいただき、世代間の交流を深めながら、日本の伝承文化がいつまでも継承されることを望んでいます。

実行委員会は、教育・福祉・文化など各種団体から22団体が集まって構成されています。大会を成功させようとして、みんなで知恵を出し合っています。

全国大会を特色あるものにしていくということで、次の3点を目標に掲げています。一つ目は、お手玉文化を継承していくには子どもたちの力が必要なことから、子どもの参加者ができるだけ多くすること。二つ目は、市には多くの外国の人たちが住んでみえますが、大会に参加していただき、日本の文化に理解を深めてもらえばということ。三つ目は、家族で参加してもらつて、家庭のきずなを深めてもらいたいという思いから、家族チームで参加しやすい大会とすることです。

全国から多くの人たちがみえますので、美濃加茂からいろいろな情報を発信していければと思います。市民の皆さまのお力を頂いて、全国大会を成功させたいと思いますので、ご協力願います。